

さるかどした

八戸医療生活協同組合
〒031-0001
八戸市頰家5丁目38-20
発行責任者 内田弘志
TEL0178-71-3456

最高のまつり日和に1600人余 《特集》第21回健康まつり



メイン・ゲスト清野春美フラメンコショーに満席の会場が包み込まれる。21回を重ねる健康まつりで華やかなフラメンコショーは初めてです。八戸出身の清野春美さんは中央で活躍する傍ら、八戸でも「はちえきキャンパス」を開いて生徒さんの指導にも頑張っておられます。この日は、地元「はちえきキャンパス」の生徒16人を含む総勢22名でステージを飾り、会場を感動で包みました。



清野春美さんフラメンコショー



前川原子カ子さん

デビュー曲「さようなら八戸の女よ」、新曲「みちのく縄文」など八戸の魅力を歌う前川原子カ子さんのオンステージで幕開け。八戸弁でのトークで会場を沸かせながらの熱唱にアンコールの声。おかげで「みちのく縄文」を再度聴くことができ、会場が一気に盛り上がりました。

10月14日、第21回健康まつりはこの秋一番の温かい秋晴れの下で賑やかに開催できました。絶好のまつり日和に誘われるように1600名を超える組合員、市民の皆さんがかけつけました。なお、健康まつりにあたって日ごろお世話になっている12業者のみなさんから協賛広告の協力をいただきました。



そろい踏み

開会にあたって、佐々木康夫実行委員長(中央)、竹本照彦前理事長(右・診療所所長)、内田弘志新理事長(左)の三人があいさつしました。



元気いっぱいリズム体操

加藤暎子さんの教室で学ぶみなさんが今年も元気あふれるリズム体操で健康まつりを飾りました。



一中支部の新班「あけぼの班」のみなさんが、大漁旗を振り、珍しいスコップ三味線などを使って楽しい舞台となりました。あけぼの班は「あけぼの劇団」を編成して施設訪問活動もするユニークな班です。



午後の大演芸会は、一中支部・小原敬子さんの祝舞で開幕しました。



階上支部は、創意工夫をこらした衣装と踊りでアラビアンナイトを演じ、喝さいを浴びました。



大演芸会に8支部から出演

一中、是川、階上、南郷、二中、小中野、根城、三中の8支部から、健康体操、組踊り、合唱など各支部自慢の楽しい出し物が続きました。各支部の熱演に盛大な拍手がおくられました。

「ご協力ありがとうございました」

実行委員長 佐々木康夫

第21回健康まつりを盛るまつりにすることができました。高橋竹山さんをメーン、準備に奮闘された支部のみなさん、職員のみなさんに心から感謝いたします。この力で八戸医療生協を大きくしていきます。

インフルエンザ予防接種が始まっています。冬を前に早めに接種しましょう。

被災地に想いを寄せて「花は咲く」「故郷」でフィナーレ



フィナーレを飾る三中支部合唱団のみなさん



大会議室での健康相談のようす

医療生協ならではの保健コーナー

公民館二階は、健康チェック、体力測定、尿検査、健康相談、お薬相談などのコーナー、が設けられ、多くのみなさんが訪れました。

虹の旗

9月8日(土)第六回介護なんでも語ろう会」に委員の一人として初めて参加しました。
藤村管理栄養士(生協診療所の講話や、グループ交流会での意見交換の際、日常の介護に活かすためのヒントを得ようと、参加された皆さんが熱心にメモをとる姿が非常に印象的でした。

「もっとより良く介護をしたい」などと快活に語られる皆さんから、たくさんの元気をいただいたように思います。

「介護は命を支える偉業である」という言葉に表れているように、介護をする側も同じようにケアが大切とやわやわで優しい。それだけに、今回のような形で「介護なんでも語ろう会」が継続され、また、参加の困難な方々へも何かの形で支援をしていけたらと思います。

参加されたみなさんを送迎の際、来年の再会を約束する言葉があり、大変嬉しく頼もしくも思えた一日でした。

(事業所利用委員会 蔵谷ゆり子)

◆診療所休診日◆

(毎月最終土曜日)

月	休診日
11月	24日
12月	29日
1月	26日

○年末・年始休診
12月30日
～1月3日

※毎週火曜日と水曜日の午後は休診となります。



腕自慢・味自慢の模擬店、大安売りのフリーマーケットなど 広場には模擬店のテントが並びました。参加支部は、一中、三中、湊、江陽、小中野、長者、下長、根城、是川、上十三、三中の各支部。公民館内では大館支部の食堂、二中支部の喫茶、東支部の売店が営まれました。他に協賛団体から生健会、こだまの園、八建協、コープあおもりの出店が並びました。早々と完売した店も、多少売れ残りの出た店もありましたが、どの模擬店も好評で、お天道様に感謝していました。

福祉体育館・公民館前の広場と中庭の芝生では模擬店や子どものお楽しみコーナー、グラウンドゴルフ体験コーナーが設けられ、賑わいました。

健康まつり・広場・中庭あらかるで



青空広場 今年3ヶ所につろげるコーナーが設けられ、食事やおしゃべり、休憩など大いに活用されました。



署名コーナー 年金者組合、ゆきとどいた教育を考える会、救援会などの署名が取り組まれました。



支部・サークル・事業所紹介コーナー 公民館玄関先の展示コーナーには一中、三中、大館、根城、是川各支部の活動、山の会の活動、事業所活動を紹介する壁新聞など作品が壁面いっぱい掲示され、関心をよびました。



子どもの広場に152名 フワフワアヒルダック、バッテリーカーの人気が高く、家族連れの幼児や小学生のみなさんが楽しんでいました。



子どもたちにも人気 グラウンドゴルフ体験コーナーには大人だけでなく、家族や小学生などの子どもたちも参加していました。



原爆と人間展 公民館2階では、国連をはじめ世界各地、全国各地で取り組まれている「原爆と人間」パネル展を開きました。原水爆禁止日本協議会と被曝者団体協議会が新しく製作したパネルで、福島原発事故の写真も含まれています。

どんなサービス付高齢者住宅を望みますか
 組合員・職員活動交流集會
 2014年度までに建設することを今年度の総代会で決めていきます。建設に向けた第一歩にするための集いです。だれでも参加できます。11月17日(土)、午後2時、福祉公民館です。



☆組合員さんの文芸☆

戦争と 平和を生き延びる
 延弘(上長支部)



☆古川延弘さんは、この作品を遺して七月に他界されました。ご冥福をお祈りします。



全員で津波の犠牲になられた方の冥福を祈って黙とうを捧げました。



山の会 10月21日(日)、40人で今年度最後の稲庭岳登山を楽しみました。納め例会なので、下山して稲庭公園でトン汁で昼食をとり、天台の湯で疲れを癒して帰りました。

一中支部、被災地野田村へ

9月21日(月)、支部総会と秋の旅行を兼ねて、東日本大震災の被災地野田村を訪ねました。会場の「えぼし荘」に着く前に被災された地域を回り、災害の状況を目の当たりにしました。50人のみなさんが参加しました。

10月20日(土)、八戸医療生協はじめ青森保健生協、津軽保健生協で働く労働組合員が中心となり、県内の医療機関の労働組合員が八戸の「はっち」で集会を開いた後、100人余の参加者が市内を白衣のパレードを行い、医療・介護・福祉の充実を市民に訴えました。



安全で安心できる医療・介護・福祉を
 八戸で「医療介護ウェーブ」行動

✿新入職員紹介✿



関川陵子(看護師)
 診療所の理念の基、精一杯がんばりたいと思います。

田村かおり(ヘルパー)
 早くデイケアの利用者様の顔を覚え、お手伝いさせていただきます。

古川祐香子(介護福祉士)
 利用者様に「今日も楽しかった」と思っていただけのように明るい笑顔と真心で精一杯がんばります。

山田真紀(介護福祉士)
 利用者様一人一人により良い介護を提供できるようにがんばりたいと思います。

天命

◇シリーズ 古玉晨二の辻説法⑭◇

朝日新聞日曜版に「惜別」の見出しで、著名人の生き様が載っている。平均余命を超えた私も、自らのそれをイメージしてみる。国民医療費は昨年37兆円を超え、65歳超一人当たり75万円。新薬等の開発で今後もうなぎ登りの予想とある。

自ら守るものは「天命」であり、種々の延命措置の厄介になるのは望まない。放っておくと病床で意識を失った時から、家族は延命にはしるのには必然で、「尊厳死の宣言」が必要となる。この稿が日の目を見る頃には実行している筈である。かかりつけ医の賛成も得よう。

この世は危険がいっぱい。まず注意するのは段差の踏み外し、結氷による転倒、障害物による頭部挫傷、私はそのどれもに弱い。考えた予防法は武士道精神！剣術は切っ先三寸が勝負。居る空間の危険を素早く察知すること。修練により「天命」を守り全うすることは、意外に集中力を要すると知った。「油断召されるな」と気を張りつめていたのだが「一瞬」ブツリと切れるときがある。「氣」の緩んだ時が怖い。